

第六十五回帝國議會
衆議院

出版法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

出版法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會 議

昭和九年三月二十五日(日曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事益谷 秀次君 理事山根 儀重君

犬養 健君 加藤 知正君

星島 二郎君 山下 谷次君

増田 義一君 松谷與二郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 勝田 永吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

内務書記官 中里 喜一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

出版法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○牧野委員長 只今ヨリ出版法ニ關スル審議ヲ致シマス、加藤君ノ前回ノ質問ニ對シテ、内務當局ヨリ御答辯ガアル筈ニナッテ居リマスガ、内務大臣ハ別ノ委員會ニ出席致シテ居ッテ、只今此方ニ出席ガ出來ナイノデ

アリマスカラ、一應參與官ヨリ御答辯ノ趣旨ヲ御同致シタイト思ヒマス

○加藤委員 此問題ハ我邦ノ國體ニモ重大ノ關係ヲ有シ、且又我邦ノ宗教ノ上ニモ非常ナル關係ヲ有スル問題デアリ、且ハ又治安維持ト云フ上カラ見マシテモ、此點ニ重大ナル責任ヲ有スル警官其人ノ暴行ト云フコトハ將來社會ニ非常ナル惡影響ヲ與ヘルモノナルヲ以テ、本員ハ容易ナラザル問題ト固ク之ヲ信ジテ居ルノデアリマス、而シテ先回内務大臣ノ答辯ニハ、何レ能ク調査ヲシタ上デ御答ヲ致スト云フコトデアリマシタカラ、本日ハ當然内務大臣ガ、此處ヘ出席サレテ、答辯セラルベキ筈デアルニモ拘ラズ、他ノ委員會ガ忙シイカラ、此處ニ出席スルコトガ出來ナイト云フ御斷リデアリマス、是レ即チ内務大臣其人ガ、斯ノ如キ重大問題ヲ甚ダ輕視致シテ居ルト云フコトヲ裏書スルモノデアリマシテ、ハ斷ジテ許スコトノ出來ナイ事實デアルト申サナケレバナリマセヌ、斯様ナ次第デアルカラ、内務大臣ノ部下タル警察官ガ斯ル非常識極

マル問題ヲ惹起スルコトニ相成ルモノト本員ハ自然考ヘサセラル、ノデアリマス、本員ハ此點ヲ甚ダ遺憾ニ思フモノデアリマスガ、併ナガラ内務大臣其居ラヌ所デ如何ニ之ヲ追窮シマシタ所ガ、結局仕方ノ無イコトニ相成リマス、殊ニ會期モ餘ス所僅ニ本日一日デ、今ハ唯時間ノ問題ト相成ッテ居ル此際、内務大臣ノ出席ヲ待ッテ居テハ遂ニ質問ノ機會ヲ逸セヌトモ限リマセヌカラ、止ムヲ得ズ政府委員ニ對シテ質問應答ヲ重ネ、之ニ依テ本問題ノ審議ヲ或ル程度マデハ進行セシムルコトニ致シマセウ、決シテ本員ハ政府委員ノ答辯ニ満足ヲ致シテ、之ヲ質問スルト云フノデアリマセヌカラ、前以テ此事ヲ御斷リ致シ、政府委員ノ御答辯ヲ承ルコトニ致スモノト御諒承ヲ願ヒマス

○勝田政府委員 先般加藤君カラ御質問ノアリマシタ件ニ付キマシテ、更ニ本日答辯致シマス、從來宮城外苑ノ取締ニ付キマシテハ、他ノ場所ト違ヒマシテ、特別扱ヲ致シテ居リマス、即チ場所柄ト致シマシテ成ベク靜肅ニ總テノ行動ヲヤッテ貰ハナケレ

バナラス、斯ウ云フ立前カラ致シマシテ、餘リ騒ガシクナリマスルヤウナコトハ、努メテ豫メ避クルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、當日ニ於キマシテアノヤウナ事態ガ發生シタノデアリマスルガ、其事前ニ於キマシテ、當局ニ於キマシテハ、只今問題ニナッテ居リマスル妙法寺議員ノ代表者ト看做サレル方々ニ對シマシテ、豫メ其趣旨ヲ申上ゲマシテ、當日ハ太鼓ヲ叩カナイデ行進ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フコトヲ言ッテ豫メ諒解ヲ得タノデアリマス、所ガドウ云フ行進デゴザイマシタカ、當日ニナリマシテ矢張太鼓ガ叩カレマシタノデ、ソレデ從來ノ約束モアリマスルシ、又宮城外苑ニ對シマスル取締ノ方針モアルモノデゴザイマスカラ、已ムナクソレヲ制止致シマシタ、所ガドウシテモ聞入レマセヌカラ、主ダタル者ニ對シテ連行ヲ求メ、サウシテ話ヲ付ケタノデアリマス、其間ニ於キマシテ色々行違モアッタノデゴザイマセウ、若シ行違ガアッタストレバ、双方ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマスルガ、内務省ニ於キマシテ

取調べマシタ所ニ依リマス、所謂暴行ト云フヤウナ程度ノモノハナクツヤウニ承知致シテ居リマス、此點ハドウゾ御諒承ヲ願ッテ置キタイノデアリマス、ソレカラ此委員會ニ於キマシテ問題ニナリマシタ太鼓ノ點デゴザイマスルガ、政府ニ於キマシテハ、日蓮宗ノ信者ノ方々ガ叩カレル太鼓其モノハ俗惡デアルトカ、何トカ云フヤウナ、サウ云フ排斥的ノ觀念ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、ソレハ此處デ明言致シテ置キマス、是ハ六百年來ノ傳統的ノモノデアリマシテ、宗教的ノ儀禮ノ一ツニ公用サレテ居ルノデアリマスルカラ、之ニ對シテ、之ヲ非難スルトカ、排斥スルト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居ラヌノデアリマス、唯時場合ニ依リマシテ、特ニ靜肅ヲ要スル、斯ウ云フヤウナ時ニ於キマシテハ、他ノモノトノ關係モゴザイマスルシ、取締ノ必要上太鼓ヲ叩クコトヲ止メルト云フコトハ、是ハ從來モヤッテ居ルコトデアリマス、今後モサウ云フ場合ニ於キマシテハ、サウ云フコトニナラウト思ヒマス、是ト其太鼓ヲ叩カレルコト自體ヲ排斥スルト云フ觀念トハ、全然別個ノモノトシテ御諒承願ッテ置キタイノデアリマス、尙ホ事務的ノコトニ付キマシテ、當日ノ有様ニ付キマシテ、多少先般答辯書

ニ書イテアリマシタコトニ付テ御不審モアリマシタカラ、一二答辯ヲ補足シテ置キタイト思ヒマス、先般ノ御質問、即チ第一ニハ團體ノ數ガ自分等ノ方デハ六十五名ト考ヘテ居ルガ、四十名ト云フコトデアルガドウダ、斯ウ云フ點デゴザイマスルガ、是ハ或ハ六十五名デアッタカモ知レマセヌガ、警察官ノ方デ見マシタ所ニ依リマスルト、僧服ヲ纏ッテ一見團體員タト云フ風ニ見ラレマシタ者ガ約四十名位デアッタノデアリマス、或ハ僧服ヲ纏ハナイデ居ッタ團體員ガアッタカモ知レマセヌ、サウ云フコトニナッテ來マスト、多少數ガ殖エルカモ知レマセヌガ、警察官ノ方デハ見タ儘、外形ニ依リマシテ約四十名ト推定致シタノデアリマス、ソレカラ煽動的言辭ヲ弄シタカラ止メタノダト云フヤウナコトヲ言フガ、決シテ煽動的言辭ヲ弄シタコトハナイト、斯ウ云フヤウナ點デアリマスガ、一體ドウ云フコトガ煽動的言辭デアッタカト云フコトニ付キマシテモ調べ見タノデアリマス、サウシマス、樂隊ヲ止メナイデ太鼓ヲ止メルノハ理由ガナイカラ叩ケ、斯ウ言ッテ友廣住香ト云フ人ガ他ノ者ニ對シテ太鼓ヲ叩クコトヲ勸メタ、斯ウ云フ事實ガアッタノデアリマシテ、ソレヲ指シテ居ルト御諒承ヲ

願ッテ置キタイノデアリマス、大體サウ云フヤウナ點デゴザイマス、尙ホ足ラヌ所ガゴザイマスレバ、此機會ニ於キマシテ、御質問下サイマスレバ御答申上ゲタイト考ヘマス

○加藤委員 餘リ多岐ニ互ッテノ御答辯デアリマスノニ、ソレヲ又此方カラモ多岐ニ互ッテ御質問申上ゲテハ、結局何レモ是モ要領ヲ得ヌコトニナリマスカラ、一ツ／＼片端カラ御質問申上ゲ、之ニ對シ一々御親切ナル御答辯ヲ載キタイト思ヒマス、僭テソコデ先ヅ第一ニ御尋シタキハ、只今ノ御答辯中ニアリマシタガ、當日ハ太鼓ヲ叩カヌト云フ約束デアッタ云々、ソレハ大變事實ガ違フノデアリマス、本員ガ松江爲吉ノ陳述ヲ記録ニ依ッテ取りマシタコトハ、先回ノ委員會席上ニ於テ之ヲ朗讀シテ居リマスカラ、アレハ其際定メシ政府委員ハ御聞キニナッテ居リ、又速記録モ御覽ニナッテ居ルコト、思フノデアリマスガ、此松江爲吉ノ陳述ニ依リマス、當日ハ太鼓ヲ叩カヌト云フ約束ハシテ居リマセヌ、其約束シテ居ラヌモノニ對シテ、約束ヲ致シタカラ之ヲ止メタト云フコトハ、是ハ警察官ノ言掛リデアル、イヤ之ハ言掛リデアルト見ナケレバナラナイ、何トナレバ此問題ハ當日ノミニ問題デハ

ナイノデアリマス、即チ二月十六日ニモ檢束シテ居ルノデアリマス、又二月十七日ニモ檢束ヲ致シテ居リマス、而シテ其檢束シタ人々ニ對シテハ、宮城前デ御題目ヲ唱ヘルコトガイケナイトカ、或ハ太鼓ヲ打ツコトガイケナイトカト、斯ウ云フコトヲ警官ガ言ッタニ相違ナイ、相違ハナイガ、併シ之ニ對シ何等ノ理由ナクシテ、唯イケナイト云フコトダケデハ斷ジテ承服スルコトハ出來ヌト答ヘテ居ル、此事ハ此陳述ニ依ッテ明カニナッテ居ルノデアル、其後三月六日ノ奉祝行列ニ付テハ、丸ノ内警察署長カラ妙法寺講ノ人達ニ對シ普通道路ノ間ハ太鼓ヲ叩イテモ題目ヲ唱ヘテモ宜シイガ、宮城二重橋前デヤッテハイケナイト云フ話ハアッタニ違ヒハナイガ、太鼓ヲ打タヌト云フ約束ハシテ居ラナイノデアル、縱令宮城前デヤラヌト云フ約束ガアッタトシマシテモ、普通道路ニ於テハ差支ナイト云フコトニシテ置キナガラ、行列ガ神田橋へ來ルト四五名ノ警官ガ現レテ、既ニ之ヲ制止致シ、和田倉門ニ至ルマデノ間ニ於テ數回之ヲ制止シテ居ルノデアル、即チイケナイ、止メロ止メロト言ッテ制止致シテ居ルノデアル、是ハ一體ドウ云フ譯デアアルノデアルカ、宮城前デハ太鼓ヲ叩イテイケナイ、御題目ヲ唱ヘテ

イケナイト云フコトノ約束デアルナラバ、
神田橋邊リカラ之ヲ制止スルニ及バヌデハ
ナイカ、何故ニ神田橋邊カラ之ヲ制止シタ
ノデアルカ、假ニ丸ノ内署長ト妙法寺講員
トノ間ニサウ云フ約束ガ成立シテアッタ
スルナラバ、神田橋邊カラ制止スルト云フ
コトハ警察官其人ガ既ニ約束違反シタコ
トニナルデハナイカ、警官自身ガ約束違反
ヲヤッテ居リナガラ、信者ノ人達ガ約束違反
ヲヤツタカラト言ッテ、太鼓ヲ取上ゲタリ、
暴行ヲ加ヘタリスルトハ何事デアリマセ
ウ、斯ノ如キ理由デハ申開キガ立タスト思
フ、殊ニ二重橋ノ前デハナイ、宮城前ト言
ヘバ是ハ廣イ區域ニ互ルト思フガ、二重橋
前デハナイ、和田倉門ノ廣場デ梓ヤ太鼓ヲ
大部分取上ゲタノデアル、此事實ヲ政府委
員ハ何ト御考ニナリマスカ、而シテ只今政
府委員ハ内務省ニ於テ調べタ處ニ依レバト
云フ御話デアルガ、一體ソレハ誰ヲ御調べ
ニナリ、又誰ノ證言ニ依ッテ、左様ナコトヲ
仰シヤルノデアルカ、ソレヲ御伺致シタイ

○勝田政府委員 只今承リマシタ二點、即
チ宮城外苑以外ノ場所ニ於ケル色々ナ經緯
デアリマスカ、是ハ只今承リマシタノデ、
明確ナル御答辯ハ致シ兼ねマス、吾々ノ方
ニ報告致シテ參ッテ居リマスノハ、當日宮城

外苑ニ於テ太鼓ヲ叩クコトハイケナイ、斯
ウ云フコトニナッテ居ッタ、斯ウ云フ報告デ
アルノデアリマス、次ニドウ云フ手續デ調
ベタカ、誰ヲ調べタカト云フ點デゴザイマ
スルガ、内務省ト致シマシテハ、警視總監
ニ命ジマシテ取調ヲ致シマシタガ、警視總
監ガドウ云フ方法手段ニ依ッテ、何人ヲ取調
ベタカ、何人ニ依ッテ何人ヲ取調べタカト云
フコトニ付キマシテハ、只今御答致シ兼ね
マス、兎ニ角只今ノ御答トシテハ、警視總
監ヲシテ取調ヲ致サセタ、斯ウ御諒承ヲ願
ヒタイノデアリマス

○加藤委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ヲ伺
ヒマシテ、ソレハ甚ダ杜撰ナ御取調デアル
ト申上ゲル、斯カル杜撰ナ御調べデハドウ
モ責任アル答辯ト私ハ之ヲ認ムルコトガ出
來ナイト思フ、總テ問題ハ初メカラ終リマ
デ、首尾一貫シテ能ク御調査ニナラナケレ
バ、責任アル答辯ハ出來ナイデハナイカ、
唯警視總監ヲシテ調べサシタカラ、何人ヲ
調べタカ分ラヌト云フヤウナ、サウ云フ無
責任ナ御答辯デハ、私ハ斷ジテ之ニ承服ス
ルコトハ出來マセヌ、只今申上ゲマシタ
ヤウニ、神田橋カラ既ニ警官ガ殆ド暴行ニ
類似シタ行動ヲ取ッテ居ルコトハ明カナル
事實デアル、私ハ敢テ之ヲ暴行ナリトハ申

シマセヌ、暴行ナリトハ申シマセヌガ、殆
ド暴行類似ノ態度ヲ以テ制止致シテ居ル、
サウ云フ事柄ヲ御調べニナラナイデ、サウ
シテ唯宮城外苑ニ於テ太鼓ヲ打タヌト云フ
約束ヲシテ置キナガラ其約束ヲ破ッテ太鼓
ヲ打ツタカラ、ソレヲ制止シタ迄デアルト云
フ、サウ云フコトダケデハ、ソレハ責任ノ
アル答辯トハ言ハレマセヌ、殊ニ今承レバ
警視總監ヲシテ調べサセタト云フコトデア
ルガ、警視總監ハ自分ノ部下ノコトデア
ルカ、部下ノ過失ハ成ルベク少ク致シタイ、
是ハ人情デアル、何トナレバ其過失ヲ全部
之ヲ認メル時ニ於テハ、嘗ニ自分ノ部下ノ

ミノ責任ニ止マラズ、警視總監其人ノ責任
トモナルノデアル、デアルカラシテ時ニ或
ハ警視總監ガ自分ノ部下ノ工合ノ好イヤウ
ナ調査ヲシ、之ヲ内務省ニ報告セヌトモ限
リマセヌ、斯カル調査報告ヲ根據トセラレ
タトスルナラバ、内務省ノ調査ナルモノハ
責任アル所ノ調査ヲ致シタモノトハ言ハレ
マスマイ、ソナナ不完全ナ調べ方デ以テ、
責任アル答辯ヲシタ積リデアラナラバ、ソ
レハ大變ナ御考違デアッテ、内務省ノ調査ナ
ルモノガ是レダケノ程度デアルト仰シヤル
以上ハ、是ハ甚ダ御都合ノ好イ、御都合主
義ノ調査デ何等ノ權威ノナイ、否無責任極

マル調査デアルト云フコトヲ、本員ハ茲ニ
斷言致シテ置キマス、而シテ更ニ御尋申上
ゲナケレバナラヌコトハ、昨日モ申上ゲマ
シタガ、外苑ニ於テ喧騒ニ互ルヤウナ事柄
ハ之ヲ制止スル、斯ウ云フコトニ付テ、サ
ウ云フヤウナ取締ニ關スル何カ書イタモノ
ガアリマスルナラバ、此際御提出ヲ願ヒタ
イト云フコトヲ請求シテ置イタノデアリマ
スガ、未ダ其御提出ガナイノハドウ云フ譯
デゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ御伺致シタ
イ

○勝田政府委員 是ハ宮城外苑ニ付テノミ
ノ特ニ法律命令ハゴザイマセヌ、併シ御承
知ノ通りニ治安警察法ノ第八條及第十二條
ノ規定ガゴザイマスノデ、此規定ノ引用ニ
依リマシテ取締ルノデアリマス、サウ致シ
マシテ、宮城外苑ハ御承知ノ通り特ニ靜肅
ヲ要スル場所デゴザイマスルカラ、其點ニ
付キマシテ特ニ考慮致シテ居ル、斯ウ云フ
ヤウニ御承知願デ置キタイノデアリマス
○加藤委員 サウスルト、此治安警察法ノ
第八條並第十二條、是ノ規定ニ依ッテ成ベク
靜ニセヨト云フノデアアル云々ト云フコトデ
アルガ、其靜カト云フコトハドノ程度ガ靜
ニスルト云フコトニナルノデアアルカ、アノ
日ノ奉祝行列ニハ在郷軍人團モ居リマス

シ、愛國婦人會ノ人達モ居リマス、又日蓮宗ノ講員ノ人達モ居リマスガ、同ジ行列ノ中ニ加ッテ居リナガラ何故ニ在郷軍人團ノ叩ク太鼓ヲ止メナカッタカ、是ハ靜カデアッタカラト申サル、ナラバ、ソレガ果シテ靜カデアッタカドウカト云フコトヲ、一ツ御伺シタイ

○勝田政府委員 靜カデアアルカ喧騒デアアルカト云フヤウナコトハ、是ハ具體的ノ場合ニ於キマシテ、社會通念ニ依ッテ判斷ヲセラ

ルベキ事項デアルト、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、同ジ音デゴザイマシテモ、時ト場合ニ依リマスレバ、喧騒ト見ナクテモ宜イ場合ガアリマス、又同ジ音デゴザイマシテモ、時ト場合ニ依リマスレバ、又場所ニ依リマスレバ喧騒トシテ取締ラナケレバナラヌコトモアリマス、其場合々々ニ依リマシテ、一ツ／＼決メテ行カナケレバナラ

ヌ問題デアアル、其標準ハ社會通念、常識デアラウト考ヘマス、只今樂隊ハドウダト云フ御話デゴザイマスルガ、單ニ是ハ音ノ大小バカリデ決メル問題デハナイヤウニモ考ヘルノデアリマス、同ジ音デゴザイマスルト、樂隊デゴザイマスルト、是ハ或ル團體ノ行進ヲ統制シ調整スル一ツノ用ニ供スルモノデアリマスルカラ、同ジ位ノ音デアリマシ

テモ樂隊ハ許サレル、併シ同ジ位ノ音デアッテモ、雜然タルモノデアルトカ、其他色々ノ方面カラ考ヘマシテ、是ハヤライ方ガ宜イト云フヤウナ場合ニ於キマシテ止メル、要スルニソコハ具體的ノ場合ニ於キマシテ、其取締ノ局ニ當ル者ガ健全ナル常識ヲ働カシテ決定セラルベキ問題デアルト考ヘマス、一概ニ抽象的ニ判斷スルコトハ困難デアラウ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス

○加藤委員 實ニドウモ奇々怪々ノ御答辯ダト思ヒマス、實ニドウモ不思議千萬ナ御答辯デアリマス、ソレデハ當日日蓮宗ノ叩イタ太鼓モ同様ナ御考デ、警察官ガ常識ヲ以テ一方ハ靜カナモノト見、一方ハ雜然タル喧騒ノ音ト見タモノト、内務當局ハ御解釋シテ居ラレルノデスカ

○勝田政府委員 私ハ只今一般の場合ヲ申上ゲタノデアリマス、本件ニ關スル問題ニ付キマシテハ、劈頭ニ申上ゲマシタル通り宮城外苑ニ於キマシテハ、太鼓ハ叩カナイト云フコトデ了解ガアッタノデアリマス

○加藤委員 私ハ一般の場合ノコトハ御尋シテ居リマセヌ、當日外苑ニ於テ在郷軍人團ノ叩イタ太鼓ハ靜カデアッテ、日蓮宗ノハ喧騒ヲ極メタモノト内務當局ハ解釋シテ居ルカ

ドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス、社會通念ノ上カラ常識云々ト云フヤウナ御話デアアルガ、何モ私ハサウ云フコトヲ御尋シテ居ルノデハナイ、當日叩イタ太鼓ニ變リハナイ、唯一方ハ在郷軍人團ノ音樂隊ノ用ヒタ太鼓、一方ハ日蓮宗ノ信者ノ打ッタ太鼓、一方ガ靜カデアッテ、一方ガ喧騒デアルト云フ區別ハ、何ニ依ッテ之ヲナサルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○勝田政府委員 當日ノ問題デゴザイマスレバ、樂隊ヲ使ヒマスルコトハ許シテアッタノデアリマス、太鼓ノ方ハ先ニ申上ゲマシタヤウニ、是ハ止メルコト云フコトニナッテ居ッタノデアリマス

○加藤委員 ドウシテサウ云フコトヲ仰シヤルノカ、先刻モ申上ゲマス通り、當日ハ太鼓ヲ叩カヌト云フ約束ハ斷ジテシテ居ラナイ、アナタハ私ガ此間讀ンダ松江爲吉ノ陳述書ノコトヲ御記憶ニナラヌノデスカ、アレニ依レバ何ニモ約束ナドハシテ居リマセヌ、ドウシテソレヲ叩カナイト云フ約束ヲシテアルト仰シヤルノカ、此間之ヲ讀ミマシタカラ、今重ネテ茲ニ之ヲ朗讀致シマセヌガ、此處ニハ約束ヲシタヤウナコトハ書イテアリマセヌ、アナタモ是ハ御承知デアラウト思フ、斯ノ如ク斷ジテ約束シテ居

ラナイコトヲ約束シタト仰シヤル以上ハ、ソコニ確カナ證據ガナケレバナラヌト思フ、ソレヲ何故ニ警視總監ガ部下ニ調査サシタ位ナ一片ノ報告ノミヲ信ジテ、約束シタト斷言ナサルノデアアルカ、本員ハ斷ジテ之ニ承服スルコトハ出来マセヌ、ドウ云フ證據ニ依ッテサウ云フコトヲ仰シヤルカ承リタイ、又音樂隊ノ方ハ許シタト言ハレルガ、其證據ハ何處ニアリマスカ、ソレヲモ合セテ承ッテ置キタイ

○勝田政府委員 只今證據ト云フコトヲ仰シヤラレルト、此處デ其證據ヲ舉ゲルコトハ困ルノデス、私ノ取調べタ結果、サウ云フ申合セガ出来テ居ッタト云フノデアリマスカラ、ソレヲ信賴シテ申上ゲルノデアリマス、アナタノ取調べタ結果約束ハナイト云フコトニナッテ參リマス、今日ノ場合はレ以上ノコトハ水掛論ニナルト考ヘマス、此點ニ付キマシテ、更ニ明確ニスルト云フコトナラバ、此問題ニ限ッテ双方取調べルト云フコトニスルヨリ仕方ナイト考ヘマス

○犬養委員 出版法ト直接餘リ關係ナイコトニロフ出スノハドウカト思ヒマスガ、加藤サンノ熱心ナル御質問ニ對シテ御答辯ガ屢、喰違ヒマスノデ、私ガ補足シテ御伺致シタイト思ヒマス、軍樂隊ノ奏スルモノヨリ

發スル音響方、宮城ノ前ニ於テハ宮城ノ靜謐神聖ヲ汚サナイ、日蓮宗ノ信者ガ信仰ヨリシテ懸念ニ叩ク所ノ太鼓ハ、ドウモ宮城ノ前デハ不穩ト認メルト云フ區別觀念ニ付テハ、私モ大ニ異議ガアリマシテ、日蓮宗ト云フモノハ、今後恐ラク日本ノ國ノアル限リ、宗教ノ一派トシテ續クモノデアリマスカラ、慎重ニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデス、當日ノ問題デスガ、當日ノ問題トシテハ軍樂隊ハ其善惡如何ニ依ラズ、許シテ居ッタ、軍樂隊ダケ許シタコト其事ハ是亦問題デスガ、軍樂隊ハ許シタ、日蓮宗ノ太鼓ハ許サナイト云フコトニ付テ、是亦加藤委員ト政府委員トノ御話ガ大變違フノデスガ、私ハ此處ニ一寸讀ンデ見マセウ、暫クシテカラ署長ト相談シテ、結局樂隊ハ宜シイガ日蓮宗ノ打ツ太鼓ハイカヌト署長ガ申シマシタ、併シ行進中ハ宜イガ、馬場先門ヨリ中ニ入ルコトハイカヌト補足シマシタ、唯イカヌト云フ儘デハ御祈念ヲ止メル譯ニハ吾々ハイカヌカラ、明日モ御祈念スルコトヲ決心シ、其趣ヲ次席警部ニ告ゲマシタ」ト云フノデスガ、馬場先門ヨリ中ニ入ルコトハイカヌト警察デ補足シタ、併シ信徒ハ唯イカヌト云フ儘デハ御祈念ヲ止メル譯ニハイカヌカラ、明日モ御祈念スル決心ダ

ト、其趣ヲ告ゲタ、斯ウ云フ問答デ終ッテ居ルノデスガ、其邊方何カ其場ノ警官ト信徒トノ間ノ對話ニ不十分ナコトガアッテ、警官ノ方デモ多少其場合々々ニ何カ不親切ガアッタノデハナイカ、或ハモット一般民衆、殊ニ信仰ヨリシテ宮城ノ前ニ於テ、皇室ノ御安泰ヲ祈念スルト云フ團體ニ對スル特殊ノ暖カイ氣持ノ動キガ足りナカッタノデハナイカ、其點ガ若シサウデアッタ場合ハ、御調査ノ上内務當局デハ遺憾ノ意ヲ表セラレル意思ガ豫メアレバ洵ニ結構ト思ヒマシガ、此邊ニ何カ其場ノ行違ガアルノデハナイカ、ソレニ關シテ御答辯ヲ戴キタイ

○勝田政府委員 只今御質問デアリマスルガ、其點ニ付キマシテハ先程申上ゲタ通り能ク分ライノデアリマス、私ノ方デ調べルト、サウ云フ申合ガ出來テ居ッタト云フノデアリマスガ、加藤君側ノ御調べニナッタ所ニ依ルト申合ガナカッタ、少クトモソレニ依リマス、警察官ノ方カラサウ云フコトヲ申渡シタコトハ明ニナッテ居リマス、ソレヲ承諾シタカドウカト云フ點迄明ニナッテ居ラス、斯ウ云フ點デアルト考ヘマス

○犬養委員 片方ハソレハイカヌ、片方ハ承服シナイ、斯ウ云フ話合ガ附カナイナラバ、茲ニ何カ誤解ガ起ッタモノト想像致シマ

スガ、兎モ角モ其點ニ付テノ御調査ノ行届カナイコトニ付テ、加藤委員ガ多大ナル不滿ヲ述ベラレルコトハ御尤ダト思ヒマス

ソレカラ其團體ニ對シテ必要以上ノ牽制ヲシタノデハナイカトモ想像シ得ル點モアリマスノデ、今後十分御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、殊ニ事柄ガ御皇室ノ御安泰ヲ祈念スルト云フ團體カラ發シテ居ルノデアリマスカラ、當世ノヤウナ世情カラ見テ優待シテ宜イノデハナイカ、唯餘リ太鼓ヲガンガン鳴ラシテ、宮城ノ神聖ナル區域内ニ響キ申スト云フコトガドウモ懸念ダト云フナラバ、軍樂隊ハ何故宜イカ、日蓮宗ノ太鼓ハドウ叩イタラ宜イカ、唯咄嗟ニ警察官ガ取締ッテ、投ゲタトカ投ゲナイトカ云フコトニナリマス、洵ニ問題ニナルカラ、今後ハ根本方針ヲ御決メ願ヒタイト思ヒマス、是ハ特ニ私カラ要求致シマス

○加藤委員 只今ノ行違ノ點デスガ、是ハ十分御調査ヲ願ヒタイ、御調査ノ上ニ此問題ノ解決ヲ致シタイト思ヒマス、更ニ政府委員ニ御尋致シタイ、治安警察法ノ第八條、第十二條ノ規定ヲ以テ取締ッタト云フ、サウスルト音樂隊ノ奏スル太鼓ハ何故之ヲ許シタカ、又日蓮宗ノ太鼓ハ何故ニ警察法ノ第八條ト第十二條ヲ適用致シタカ、其理由ヲ

一ツ御尋致シタイ

○勝田政府委員 此音樂隊ノ音樂ト、日蓮宗ノ太鼓トノ結局比較研究ニナルノデアリマスガ、是ハ私此處デ申上ゲルノガ適當デアリマスカドウカ、或ハ係官ガ其場合ニ依ッテ決定シタ其事實ヲ申上ゲルノガ適當デアルカドウカ、唯音樂隊ノ音ト、日蓮宗ノ太鼓ノ音トドチラガ喧騒デアアルカト云フ抽象的ノ御質問ニ付テハ、實ニ返答ニ困ルノデアリマス、唯音樂隊ハ御承知ノ通り、一般的ニ解釋致シマスト行進曲デゴザイマシテ、行進ノ秩序ヲ寧ロ補助スルト云フ風ニモ考ヘラレル、是ハ一般的ノ考デ、敢テ固執スル譯デハアリマセヌガ、日蓮宗ノ太鼓モサウデモゴザイマセウガ、時ニ依リマスト激シクナルト云フヤウナコトガアルト思フ、斯ウ云フ場合ニハ、日蓮宗ノ太鼓ハ止メテ貰ッたら宜イデハナイカト云フヤウナ事カラ出發致シマシテ、先程申シマシタヤウナコトニナッテ居ルノデハナカラウカ、斯様ニ推測致スノデアリマス、併ナガラ吾々ト致シマシテハ、繰返シ是ハ劈頭ニ申上ゲタノデアリマスガ、日蓮宗ノ太鼓ヲ叩カレル事自體ヲ、決シテ彼此レ言フノデアリマセヌガ、此點ヲ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、ソレハ十分ニ尊重スルノデアリマス、併ナ

ガラ場合ニ依リマシテハ、サウ云フヤウナ懸念ガアリマス、時ニハ豫メ止メル、或ハ認メル場合ガラウカト考ヘマス、音樂隊ニ致シマシテモ、餘リニ滅茶苦茶ナ音樂ヲ奏スルト云フ時ニハ止メマス、是ハ結局音樂隊ダカラ宜イトカ、日蓮宗ノ太鼓ハ惡イト云フ抽象ノ場合ニ依ッテ決メルベキデハナイ、具體的ノ場合ニ依ッテ決メルベキ事デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○犬養委員 ソレニ付テ私ハモウ少シ違ッタコトヲ伺ッテ居リマスガ、詰リ音樂隊ダカラ宜イ、日蓮宗ノ太鼓ハ惡イト云フノデナクシテ、音樂隊ノ音樂ハ疾ニ許シテ居ル、何故許シテ居ルカト云フト、畏イコトデアリマスガ、陛下ノ行幸ノ時ナドニ君ケ代ヲ奏シ奉ルトカ、或ハ觀兵式デ軍隊ノ行進曲ヲヤルトカスルカラ、今更サウ云フ範圍ノモノヲ差止メル必要ハナイ、併シ日蓮宗ノ太鼓ハ、陛下ノ御前デ叩イタト云フ例ハナイノデ、是ハ新シイ事項ニナルカラ、其處ニ區別觀念ガアッテ、旁、當日ハ音樂隊ハ宜イガ、日蓮宗ハマダ其例ヲ聞カヌト云フ程度ノ觀念ヲ以テ御止メニナッタヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ理由ナラバ多少穩當ダト思ヒマスガ、コンナ事モ根據ノ一ツニナッテ居ルノハデナイデスカ

○勝田政府委員 只今加藤君ノ御質問ハ、音樂隊ヲ認メテ、日蓮宗ノ太鼓ヲ止メタト云フノハ、ドチラガ喧騒ダト云フヤウナ事ヲ御聞キニナツタカラ、喧騒ト云フコトハ抽象的ニハ申上ゲ兼ネル、其場合ニ依ッテ音樂隊デモ喧騒ノ場合モアレバ、太鼓ノ方ガ喧騒ナ場合モアル、是ハ程度ノ問題デアル、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス、當日ノ問題デアリマス、先程申シマシタヤウニ、音樂隊ニ於キマシテハ既ニ許シテ居ルノデアリマス、許シタト云フ根據ハ、只今犬養君ノ御述べニナッタヤウナ節ガアッタカラ許シタ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山根委員 今ノ問題ハ斯ウ思フノデス、先程カラ政府委員ガ屢、申サレルノデアリマスガ、宗教的ノ儀禮ニ關スル音樂ニ付テハ、之ヲ無理ニ制止シヨウトカ、侮辱シヨウトカト云フヤウナ考ハ毛頭ナイ、斯ウ言ハレルノデアリマスガ、今ノ宮城前ノ具體的事實ニ付テ考ヘマシテ、音樂隊ハ之ヲ許シテアッタカラ差支ナカッタ、日蓮宗ノ太鼓ノ事ニ付テハ豫メ叩カナイヤウニ打合ガシテアツタカラ、ソレデ制止シテモ差支ナカッタ、斯ウ云フ風ナ御答辯デアアルノデアリマス、サウスレバ法理的ニハ片方ハ許シテアツタカラ宜シイ、片方ハ許シテナカッタカラ――

其事ハ打合濟ミデアルガ、ソレニ反シタカラ差止メタ、差止メタノハ處置其宜敷ヲ得テ居ルノデアルト、斯ウ云フヤウナ御答辯ニナルノデアリマスガ、先程來ノ加藤君ノ御質問ノ趣旨ハ、更ニ私ハ遡テ居ルト思フノデアリマス、一體日蓮宗ノ太鼓ヲ叩ク事ニ付テ差止メノ打合ヲスルト云フ事、ソレ自體ガ穩當ヲ缺イテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ所ニ私ハ進ンデ居ルヤウニ思フノデアリマス、警察カラ言ハレル事デアリマスカラ、ソレデヤ警察ノ御意思デアルカラ從ヒマセウト云ッテ、サウシテ義ノ文書ニ依リマス、ソレハ困ルト言ッテ承服ハシナカッタヤウニナッテ居リマスガ、假リニ承服ヲ致シテ居ッテモデス、ソレハ御上ノ仰シヤル事デアリマスルカラ承服シテ來ルノデアッテ、内心ハ甚ダドウモ穩カデナイ、表向キ承服シテモ、内心ハ承服シナイ場合ガアルト思フ、音樂隊ノ事ハ聞イテ居ラヌカラ、行ッテ見ルト音樂ヲヤッテ居ルノデ、西洋カラ來タ樂隊ヲヤラシテ置イテ、サウシテ自分等ノ六百年ノ歴史ヲ有ッテ居ル宗教的儀禮ヲ差止メタト云フコトハ何ダ、今ノ警察ノ言方ハ不公平ダト云フコトガ勃然トシテ内心ニ起ッテ來ルノハ、人間ノ心理トシテ當然デ、ソコデハハヤッテモ宜イノダ、斯ウ云ッテ叩

キニ行クコトニナルノデ、心理狀態ハソコ迄行クモノダト思フ、假リニ全部承服シテ置イテモ、行クコトニナルカラ、無理ナ事ヲ差止メテ置イテモソレハ守レヌコトニナルノデアルカラ、無理ナ差止ヲシナイヤウニシナクテハナラス、承服シタノヲ、ソレヲ破ッテハオ前ガイケナイ、斯ウ威猛高ニナルト云フコトハ行政官トシテ、人間ノ心理ヲ治メル上ニ於テ、少シク取扱上ニ過失ガアルト私ハ思フノデアリマス、ソコデ今後ニ於テモサウ云フ問題ハ能ク人間ノ心理ヲ解シテ、無理ナ差止ヲシナイヤウニ工夫セラレルト云フコトガ根本ニ遡ッテ必要デハナイカト私ハ思フ、先程頻リニ約束ガアッタカラ差止メタ、ソレハ當然デアルト云フコトデ突張ッテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、突張ラレル事自體ニ於テ私ハ少シク無理ガアルト思フノデアリマシテ、此根本ニ遡ッテ、サウ云フ約束ガアッタカドウカト云フコトヲ調べラレルト同時ニ、何故六百年來定ッた所ノ一ツノ儀禮デアアル日蓮宗ノ太鼓ヲ、其日差止メルヤウナ打合ヲシナケレバナラナカッタノカ、ソレハ或ル程度迄許シテ宜カッタノデハナイカト云フコトモ、進ンデ御取調ヲ願ッテ、注意下サル方ガ私ハ適切デアルト、斯ウ思フノデアリマシテ、其點

ニ付テ特ニ政府當局ノ御取調、ソレニ對スル適切ナル御處置ヲ私ハ希望シテ已マナイ、サウシナイデ無理ヲシマスト違反ガ起ル、違反ガ起レバ其處ニ爭ガ自然ニ起ル、サウシテ來タ時ニ、命令ヲ根據トシテ之ヲ突張ッテ、政府ノ權限ヲ維持セラレマスコトハ、私ハ少シク無理デアルト、斯ウ思フノデス、ノミナラズ最近トモスレバ警察官ガ少シ威猛高ニナリ過ギルト云フ世評ガ屢起ッテ來ルノデアリマシテ、殊ニ身分保障以來、少シ警察官ガ人民ニ對シテ權威ヲ揮ヒ過ギルト云フ聲ガ所々ニ起ッテ居リマス、是ハ此問題ニ限ラズ、種種ナル犯罪ノ檢舉、若クハ治安ノ取締ニ關シテ時ニサウ云フ聲ガ起ッテ來ル、具體的ノ證據ヲ舉ゲロト言ヘバ甚ダ困ルコトデアリマスケレドモ、ドウモサウ云フ空氣ガ世人ノ間ニ起ッテ來テ不平ガアリマス、日本ノ司法警察ノ檢舉ノ巧妙ナコトニ付テハ何人モ敬意ヲ表シテ居リマスケレドモ、行政警察ノ方面ニ至ルト、少シ警察官ガ親切ヲ缺ク點ガアルト云フコトハ、世間一般ノ批評デス、サウ云フコトガ自ラ此處ヘ現レテ來テ居ルノデハナイカト想像致スノデアリマシテ、御上ノ御威光デ色々ナコトヲ差止メテ、其差止ヲ肯カヌノハ怪シカラヌト

云フヤウナ立場ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、之ヲ機會ト致シマシテ、一般ノ警察官ノ處置ニ付テ親切ニ國民ニ當ルヤウニ願ヒタイ、英吉利ノ警察官ハ普通ニハ小父サント云ッテ居ル、日本人ノ心理デハ警察官ヲ小父サント云フ心理ハ毛頭起ッテ來マセヌ、斯ウ云フ意味デ警察官ノ修養ニ付テハ特別ノ注意ヲ拂フヤウニ御願致シタイと思ヒマスガ、サウ云フコトニ關スル政府當局ノ御所見ヲ承ッテ置キタイ、實ハ加藤君ニ於カレテモ、必シモ無理ニ追窮シテ責メヤウト云フコトガ本旨デハナク、將來ニ於テ過ナキヤウニ期セラレルコトガ本旨ト思ヒマスガ、政府ノソレニ對スル御所見ヲ承ッテ置キタイと思ヒマス

○牧野委員長 一寸申上ゲマス、今本會議ガ始マリマシタカラ、著作權ノ委員長報告ヲヤッテ來マス、加藤君ニ御相談致シマスガ、アナタノ質問ハ法律的ニハ此法案ノ安寧秩序ヲ妨害シ又風俗ヲ壞亂スルト云フコトニ關係スルト委員長ハ承知致シテ居リマス、而シテ法案審議ノ上ニ於テハ殆ド其目的ハ達セラレテ居ルト思フ、殘ス所ハ政治的ニ斯様ナコトヲシタノガ善イカ惡イカ、將來ドウ云フヤウニ取締ルト云フ問題デアリマス、而シテ此問題ハ此結果ニ關シテ起

タ問題デナク、他ノ場合ニ於ケル加藤君ノ質問ニ對スル内務大臣ノ答辯ノ不親切カラ始マッテ居ルノデアリマス、故ニ此問題ハ此法案ノ機會ニ必シモ完結シナイデモ、他ノ機會ニ十分御論及ニナル機會ガアルト思ヒマスカラ、大抵ノ所デ我慢ヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、委員長ハ一寸本會議ヘ報告シテ參リマスカラ、其間ニ成ベク此問題ヲ治メルヤウニ願ヒタイ

〔委員長退席、益谷委員長代理著席〕

○加藤委員 只今委員長カラノ御話モアリマシタガ、此事ハ先刻來申上ゲマスル如ク決シテ輕イ問題デハナイノデアリマス、私ガ之ヲヤカマシク申シマスル所以ノモノハ、實ハ警察官ノ斯様ナ暴行事件ハ唯一警察官ノ暴行事件ニ止メルコトガ出來ナイ、此影響スル所ハ宗教ノ彈壓トナリ、壓迫トナリ、又一面カラ言ヘバ皇室ト國民ノ離間ニモナルト云フ、極メテ重大ナ關係ガ茲ニ生ズルコトヲ恐レマシテ、此問題ハ徹底的ニ審議ヲ致シタイト云フ觀念ニ出發シテ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ今回出版法ノ改正ニ當リマシテ、第一ノ煽動行爲、第二ハ畏多クモ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スル、第三ニハ治安維持ノ妨害ト云フコトニ、悉ク是ハ關係ヲ持ッタ問題デアル、唯徒ニ法規

ノミヲ完全ニ致シマシタ所デ、斯様ナ事實問題ヲ閑却致シマスレバ、折角設ケマシタ法規モ反古同様ニ相成ルノデアリマス、若シ斯ル事實問題ノ如キハ宜イ加減ニシテモ宜シイト云フヤウナ政府當局ノ御考デアラナラバ、何ノ爲ニ此出版法ノ改正ヲ斯ノ如クセラル、ノデアルカ、如何ニモ是ハ矛盾致シタコトデアアル、デアリマスカラ、唯徒ニ法規ヲ改正シテ、ソレガ議會ヲ通過シサヘスレバ宜シイト云フモノデハナイ、如何ニ日本ガ法律ヅクメノ國デアルト言ハレテ居ルニモセヨ、政府ガ法規サヘ拵ヘレバ宜シイト云フヤウナ考デアラレルナラバ、是非非常ナ間違デアアル、故ニ私ハ此問題ニ付テハ十分質スベキ所ハ質サナケレバナラヌト云フ考デアルノデアリマス、殊ニ此事實問題ハ、此出版法ニ關係ガナイト見ラレル方ガアルカモ知レマスケレドモ、私ハ斷ジテ只今申上ゲマシタ見地カラ關係ナシトハ申スコトハ出來マセヌ、デアリマスカラ本員ガ満足スル程度迄ハ御答辯ヲ得ナケレバナラヌト思ヒマス、若シ満足スルコトガ出來ナイ以上ハ——本年此問題ヲ解決スルコトガ出來ナケレバ、明年、明年此問題ヲ解決スルコトガ出來ナケレバ明後年、何年掛ッテモ、本員ノ生命ノアラン限リハ我が

國家、我が宗教ノ爲ニ徹頭徹尾ヤラナケレバナラヌト云フコトヲ豫メ此處ニ申上ゲテ置キマシテ、而シテ更ニ質問ニ入りタイト思ヒマス

先刻私ガ治安警察法ノ第八條ト第十二條ヲ適用致シテ、日蓮宗ノ太鼓ヲ當日止メタ、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、而シテ一方ノ音樂、在郷軍人團ノ奏スル音樂隊ハ、何故止メナカッタカト云ヘバ、社會通念上は從來モ許可シテ居ッタノダカラ差支ナイ、許可シテ居ッタノダカラ止メナカッタ、斯ウ云フ御話デアッタ、ソレニ付テ私ハ又色々ノ疑義ガ其處ニ生ズルノデアル、一體止メルト云フ精神ガ、靜肅ヲ旨トスルト云フコトガ其本旨デアルトスルナラバ、喧騒ニ互ルモノハ先ヅ一般ニ之ヲ止メナケレバナラヌノガ公平ナ處置デハナイカ、社會通念上、一方ノ音樂隊ハ從來 陛下ノ御前デモ奏スルノダカラ、是ハ止メナイ、斯ウ云フコトト、靜肅ヲ旨トスルカラ之ヲ止メル、止メヌト云フコト、ハ、是ハ自ラ問題ガ違フト思フ、同一ニ之ヲ視ル譯ニハ行カヌト私ハ思フ、靜肅ヲ旨トスルト云フコトデアアルナラバ、ドウ云フ樂器デアラウガ、ドウ云フ音聲デアラウガ、是ハ悉ク止メナケレバナラヌ答ト考ヘル、ソレヲ其儘一方ハ社會通

念上之ヲ認メテアルカラ、自然其間ニ之ヲ許可シテ居ルノダ、ダカラ喧騒デモ差支ナイト云フコトデハ、私ハ官ノ取扱トシテハ甚ダ不公平ヲ免レヌト思フ、一體當日之ヲ止メタト云フコトハ、靜肅本位デ之ヲ止メタノカ、或ハ社會通念上差支ナイト思フモノダケガ許シテアッテ、又然ラザルモノハ之ヲ止メタト云フコトガ本旨ナノカ、一體何方ニ在ルノカ、ソレヲ御聽キシタイ

〔益谷委員長代理退席、委員長著席〕

○勝田政府委員 此點ニ付キマシテハ、先程カラ吾々ノ所信ヲ度々申上ゲテ居ルト信ズルノデアリマス、具體的ノ當日ノ事實ニ付テ申上ゲマスレバ、音樂隊ハ諒解ヲ致シテ居ッタノデアリマス、太鼓ニ付キマシテハ、先程申シタヤウナ譯デ、是ハ多少加藤君ト吾々ノ方トニ於キマシテ事實ノ點ニ付キマシテ、認識ガ違ッテ居ルノデアリマ스가、兎ニ角ヤラナイコトニ話合ガ出來テ居タト、斯ウ吾々ノ方デハ承知シテ居ルノデアリマス、ダカラ之ヲ止メタノデアリマ스가、靜肅ト云フ文句ノ解釋ニナリマス、中々ムヅカシイと思ヒマス、默ッテ居ルコトガ靜肅カ、多少音樂ヲ奏シテモ靜肅ヲ失ハナイカト云フコトニナッテ參リマス、段々問題ガムヅカシクナッテ參リマス、當日ノ問

題トシテハ、先程繰返シテ申上ゲマシタ所ニ依ッテ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○犬養委員 此問題ハ先程山橋委員ノ仰シヤル通りデアリマス、要ハ從來ノ國歌ノ君ガ代、或ハ軍隊ノ行進曲、觀兵式ニ於テ 陛下ノ御前デ奏スル慣例ニナッテ居ル行進曲ト云フヤウナモノヲ宮城前デ許シタ習慣ニ依ッテ、音樂隊ハ許シテ居ル、然ルニ日蓮宗ノ太鼓ハ新シイ事項ニ屬スルカラ、許サナカッタト云フヤウナ、許可不許可ノ點ニ付テ、私ハ當局ニモウ少シ研究ノ餘地ガアッタと思ヒマス、第二ニハ要スルニ山橋サンノ仰シヤル通りデ、警官ノ民衆ニ對スル扱ヒ問題デアリマス、心持ノ問題デアリマス、ソレカラ萬事發シテ居ルノデアリマス、是ハ今後十分御氣ヲ付ケテ願ヒタイト思フノデアリマス、加藤委員ノ熱誠ナ御質問、重々御尤デアリマスガ、凡ソモウ糾彈スベキ點ハ糾彈シテ居ルノデアリマス、一體內務大臣ガ此席ヘ出テ來ナイト云フコトハ、私ハ尙更加藤知正君ノ熱烈ナル質問ニ對スル禮義ヲ以テスル應待ノ所以デナイト、私ハ深く遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマス、非常ニ私ハ無禮ナ態度ダト思ッテ居リマス、併ナガラ要スルニモウ糾彈スベキコトハ十分各項ニ互ッテ申シタノデアリマシ

テ、今後當局ニ於テハ斯ウ云フ事ノ絶對ニナイヤウニ、御願シタイノデアリマス、一體此問題ハ五分カ六分デ済ム答ノモノヲ、當局ノ御答辯ノ喰違ヤラ不備ヤラデ、コンナニ延ビタコトヲ私深ク遺憾ト思ッテ居リマス、委員長ニ於カレマシテモ、此問題ノ紛糾ノ元トナッタ本質ヲ斟酌セラレマシテ、適當ニ御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス

○勝田政府委員 將來ノコトニ付キマシテ、山橋君、犬養君カラ色々御親切ナル御忠告モアリマシタ、有難ク御受スルノデアリマス、警察官ガ民衆ニ對シマシテ不親切デアルト云フコトニ付キマシテハ、吾々モ始終苦情ヲ聞イテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ十分ニ今後ニ於キマシテモ、サウ云フ非難ノナイヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、此點ダケヲ此機會ニ於キマシテ明ニ申上ゲテ置キマス

○加藤委員 犬養委員並ニ山橋委員カラ、私ノ言ハントスル所ヲ十分御話下サイマシテ、私はレ以上申上ゲタクハアリマセヌガ、併ナガラモウ少シ此點ニ付テ疑義ノアル處ヲ私ハ質シテ見タイト思ヒマス、此內務大臣ノ答辯書ノ中ニ「從來遙拜者ニ對シ俗惡若ハ喧騒ナル音律ヲ發スル樂器類ハ一切之ヲ差止メ」云々トアリマス、サウスル

テ、今後當局ニ於テハ斯ウ云フ事ノ絶對ニナイヤウニ、御願シタイノデアリマス、一體此問題ハ五分カ六分デ済ム答ノモノヲ、當局ノ御答辯ノ喰違ヤラ不備ヤラデ、コンナニ延ビタコトヲ私深ク遺憾ト思ッテ居リマス、委員長ニ於カレマシテモ、此問題ノ紛糾ノ元トナッタ本質ヲ斟酌セラレマシテ、適當ニ御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス

ト、此意味デ以テ當日ノ日蓮宗ノ打ッ太鼓ヲ止メタ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマスガ、左様ナコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○勝田政府委員

是ハ内務大臣ノ御答辯ニ付キマシテ、私彼此レ申上ゲルノハドウカト思フノデアリマスガ、私一個ノ見解ヲ此際申シタイト考ヘマス、内務大臣ノ御答辯ト切離シテ御考ヘ下サッテ結構ダト考ヘマス、寧ロ私ハ其方ヲ希望スルノデアリマス、俗惡喧騒ノモノハ止メルト云フ一ツノ準則ト申シマスカ、ソレガアル、デ片方ノ日蓮宗ノ太鼓ヲ止メタ、斯ウ云フ事實ガアリマシテ、ソコカラ今度逆ニ御論ジニナッテ、ダカラ日蓮宗ノ太鼓ハ俗惡喧騒力、斯ウ云フヤウニ御覽ニナッテノ御質問デアラウト考ヘマスガ、私等ハソコマデ考ヘテ居ラヌノデアリマス、大體ノ取締ノ準則ハサウ云フモノヲ取締ルノデアリマスガ、日蓮宗ノ太鼓ガ俗惡喧騒デアルカラ止メタト云フヤウナ、其處迄ノ深イコトヲ考ヘテハ居ラヌノデアリマス、先程來繰返シマシタ如ク、當日ハ太鼓ヲ打タナイ、斯ウ云フコトデアリマス、但シ宮城外苑ニ於ケル大體ノ取締方針ハ、俗惡喧騒ニ互ルモノハ止メ

ル、靜肅ニヤル、斯ウ云フコトデアルノデアリマスガ、之ヲ逆ニ直ニ日蓮宗ノ太鼓ハ俗惡喧騒デアル、其處迄ハ考ヘテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○加藤委員

中々ドウモ巧妙ナ御答辯デ御苦心ノ存ズル所、御察申シマス、併ナガラ私ハ斯ウ云フコトヲ一ツ伺ッテ置キタイ、日蓮宗ノ太鼓ハ之ヲ俗惡ト御考ニナルカ、喧騒ト御考ニナルカ、太鼓ハ又打方ニ依ッテイカヌト云フ先刻ノ御話モアリマシタカラ、是ハ切離シマスガ、日蓮宗ノ太鼓ヲ俗惡ト御考ニナルカ、之ヲ若シサウダトスレバ、救世軍ノ太鼓モ同ジコトデアル、又「ニコライ」堂「鐘」ア「レハ東京全市ニ響キ渡ッテ居ル、畏クモ宮中マデ是ハ聞エル、喧騒取締ヲ本旨トシテ之ヲ止メタト云フコトデアルナラバ、「ニコライ」堂ノ鐘モ止メナケレバナラヌ、是等ノモノハ皆止メナケレバナラヌ、ソコデ私ハ此喧騒ト云フコトハ程度問題デアルカラ云々ト云フコトデハ満足シマセヌ、私ハソナコトデハ満足出來マセヌガ、特ニ茲ニ俗惡ト云フ文字ヲ内務大臣ハ御使ヒニナッテ居ル、日蓮宗ノ太鼓ヲ俗惡ト御考ニナッテ居ルノデアリマスガ、此際内務大臣ノコトハ切離スト云フコトデアリ

マスカラ、私ハ勿論切離シテ内務大臣ノコトハ、内務大臣ニ別ニ御尋申シマスガ、參與官タル所ノ政府委員ノ勝田サンハ、之ヲ何ト御考ニナルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○勝田政府委員

非常ニ難カシイ御質問デスガ、觀念論ト致シマシテハ、抽象的ニ申シマスレバ、俗惡ダトモ喧騒ダトモ考ヘテ居リマセヌ、併シ具體的ニ太鼓ノ濫用ト云フコトニナッテ來ルト、ソコデ初メテ俗惡ノ場合モ起リマセウシ、喧騒ノ場合モ起ルト思フノデアリマス、併シ信者ガ信念ニ基イテ御打ニナル太鼓ハ、俗惡デモ喧騒デモナイト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス

可シナイト云フ取扱ニ付テ多少不親切ナ點ガ下ノ方ニアッテ、サウシテ事實内務當局ハ俗惡ト思ッテ爲サッテ譯デナク、又字句ヲ逆ニ讀メバ、俗惡ト讀メルヤウナ結果ナノデスカラ、結論ハ加藤委員ニ俗惡ナルカノヤウナ觀念ヲ與ヘタコトハ、無論當局ノ本意デナイ、ソレデ本意デナイト云フコトヲハッキリ御言ヒニ相成ルト、サウスレバ此問題ハサウ餘リニ御論ジニナル必要ハナイト思ヒマスガ、サウデハナイデセウカ

○加藤委員

只今犬養委員カラ屢、御繰返シデアリマスガ、其事ニ付テ本員ハ此際一言致シテ置キタイ、此問題ハ無論當日起キタ問題ニハ違ヒアリマセヌ、併シ當月初メテ外苑ニ於テ日蓮宗ノ信者ガ太鼓ヲ叩イタノデヤナイ、是ハ松江爲吉ノ陳述書ニモ書イデアリマス通り、十四年前カラ三々五々二重橋ノ所ヘ來テ、サウシテ太鼓ヲ叩イテ祈念ヲ籠メテ居ッタノデアル、殊ニ團體的ニ太鼓ヲ行ツト云フコトハ、三年前カラヤッテ居ルノデアル、然ルニ此永イ間警官ガ之ヲ檢束シタナドト云フコトハナカッタノデアッテ、此干涉ノ喧シイコトハ本年二月十六日カラ始マッタコトデアル、殊ニ當日ハ畏クモ奉祝ノ誠意ヲ披瀝スル爲ニヤッテ來タノデアル、先刻政府委員ハ警官ノ常識云

云ト云フ御話デアリマスガ、若シ警官ニ本當ノ常識ガアッタナラバ、奉祝ノ誠意ヲ以テ來テ居ル者ニ對シテ何故左様ナ亂暴ノ行爲ヲ執ルノデアルカ、内務當局ハ此亂暴ナル行爲ヲ否定シテ居ラレルノデアリマスガ、併ナガラ假令亂暴ナル行爲ガナイニシタ所デ、當日ハ畏クモ 皇后陛下ノ御誕辰ヲ奉祝スル誠意ヲ以テ來タノデアルカラ、其日ハ其儘ニシテ置イテ、翌日デモ諷スヤウニスレバ宜イデハナイカ、敢テ此態度ニ出ナカッタト云フ處ニ重大ナル手落ガアルノデアル、尙ホ繰返シテ申シマスガ、日蓮信者ノ人達ハ三年前カラ團體的ニヤツテ來テ居タノデアル、ソレヲ默ッテ放ッテ置イテ、默過シテ置イテ、當日ニ限ッテ之ヲ制止スルトハ何事デアルカ、殊ニ奉祝ノ誠意ヲ以テ來テ居ルノデハナイカ、此善男善女ノ良民ヲ足蹴ニ掛ケテ差止メヤウトスルト云フコトハ、一體ドウ云フ心持デヤッタノデアルカ、警官ノ心理狀態ガ分ラヌコトニナルデハナイカ、茲ニ私ノ言フ所謂皇室ト國民トノ間ヲ警官ノ行動ガ離間スルコトニナルト思フノデアル、突如トシテ當日初メテ此事ガ起キタ問題ナラ、私ハ敢テ斯様ニ喧シクハ申シマセヌ、三年前カラヤツテ居ッテ、サウシテ從來ノ取締デハ之ヲ默シテ置イタ、若シ此

治安警察法第八條、第十二條ヲ適用セナケレバナラヌモノデアルナラバ、ズット以前カラ之ヲ適用スベキ筈デアル、十有餘年モ默過シテ置イテ、三年前カラ團體的ニヤツテ居ッタモノヲ默過シテ置イテ、サウシテ當日ニ限ッテ左様ナ不祥事ヲ起スト云フコトハ、ドウ云フ譯デアルカ、是ガ本員ガ之ヲ輕々ニ取扱フコトガ出來ナイト申ス根據デアアルノデアル、誰ガ何ト言ッテモ何處迄モ其責任ノ存スル所ヲ明ニシテ、政府方針ノ存スル所ヲ確メナケレバナラヌ根據ハ此處ニアル、私ハソレヲ一ツ御尋シタイノデアル、之ニ對シドウ云フ風ニ内務當局ハ考ヘテ居ラル、ノデアルカ

○牧野委員長 加藤君ニ重ネテ申上ゲマシガ、實ハアナタハ日蓮宗ノ信者デナイト言ハレルガ、委員長ハ日蓮宗ノ信者デアリマス、太鼓ヲ叩クコトヲ非常ニ賛成シテ居ルス、一人デアリマス、先日來ノ質問ハ非常ニ日蓮信徒ニ取ッテ重要ナル問題ト考ヘテ、成ベク當局ノ満足ノ行ク答辯ヲ得ヨウト思ッテ居ッタノデアリマスガ、只今ノ參與官ノ御答辯ハ、日蓮宗ノ太鼓ニ付テ俗惡トモ喧騒トモ考ヘテ居ラヌト云フ明言デアル、唯事實ニ於テ之ヲ亂打シ若クハ俗惡ニ導クコトハアルカモ知レナイ、一般的ニハ日蓮宗ノ

太鼓ハ俗惡デアルトモ、喧騒デアルトモ考ヘテ居ラヌト云フノデスカラ、其答辯ノ程度ニ於テ満足ヲセラレテ戴キタイ、此法案ノ審議ニ付テハ風俗壞亂、安寧秩序ノ妨害ノ限界ヲ聽クコトニナルノデアリマスカラ、政治的問題ハマダ解決シマセヌガ、是ハ是法案ニ依ッテ政治的解決ヲスルト云フコトハ難シイノデアリマスカラ、ソレハ他ノ機會ニ願ヒタイ、此法案ニ付テノ質問應答ノ限度ハ此程度デ満足ヲ願ヒタイ、斯ウ思ヒマス

○加藤委員 委員長ノ仰シヤルコトハ決シテ本員承知ヲセヌト云フノデハナイ、併ナガラ先刻來政府委員ハ内務大臣ノ本員ニ與ヘラレタ答辯書ト切離シテ答辯スルト云フコトデアリマス、内務大臣カラ本員ニ與ヘラレタ答辯書ニ付テハ、當然更ニ責任アル御答辯ヲ得ナケレバナラヌト思ッテ居リマス、殊ニ是ハ私ハ俗惡トカ、喧騒トカ云フコトダケノ文字ニ拘泥シテ、決シテ喧シク申スノデアリマセヌ、又委員長ハ自分ハ信者デアッテ、日蓮宗ハ云々ト仰シヤルケレドモ、是ハ日蓮宗一派ノ問題デハアリマセヌ、宗教全體ノ問題デアリマス、決シテ日蓮宗、或ハ佛教ナント云フ問題デハナイ、宗教全體ノ問題デアリマス、延ヒテハ基督

教ノ彼ノ「ニコライ」ノ鐘トカ、或ハ救世軍ノ太鼓等ニモ將來重大ナ關係ヲ有ツ問題ナノデアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、先刻委員長ハ一寸御留守デアリマシタガ、此事ハ詰リ出版法ニ於テ治安維持トカ、或ハ皇室ノ尊嚴トカ、或ハ煽動トカ云フコトヲ特ニ改正シテ、入レナケレバナラヌコトノ必要ヲ認メタ、政府ガ此法規ノミヲ改正シテ其目的ヲ達成シヨウトスルノハ無理デヤナイカト思フ、斯ウ云フ事實問題ヲ有耶無耶ニ辨ッテ、唯法規ノミヲ立派ニシタ所デ、到底其目的ヲ達セラレルモノデハナイ、又是ガ斯ノ如ク文書ニナッテ現ハレタ、私共ハ唯斯ウ云フ官報デ以テ此答辯書ヲ全國ニ配ラレル、一度之ヲ見タ所ノ人達ハドウ云フ考ヲ起スデアラウカ、是ハ宗教ノ上ニモ國體ノ上ニモ、思想ノ上ニモ重大ナル關係ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、本問題ノ如キハ此出版法ヲ議スルニ當ッテ決シテ間接ナ關係トノミ認ムルコトハ出來マセヌ、否直接重大ナル關係ヲ有スル問題デアルノデアリマス、國體觀念ノ上カラ言ヒマシテモ、宗教觀念ノ上カラ言ヒマシテモ、國民思想ノ上カラ言ヒマシテモ、決シテ之ヲ看過スルコトハ出來ナイ、故ニ私ハ委員最ハドウ云フ譯デサウオ急ギニナルカ知り

マセスケレドモ、斯様ナ問題コソ議會ニ於テ十分徹底的ニ審議シテ、サウシテ國民ノ歸趨ヲ明ニスルト云フコトガ、最モ吾々國民ノ代表者トシテハ當然ノ責任デヤナイカト考ヘル次第デアリマス、デアルカラ議事ノ進行ヲ懸念セラレテ左様ナ御注意ガアルカモ知レマセスケレドモ、此意味ニ於キマシテ徹底的ニ是ハ一ツ審議ヲ進メラレルヤウニ御願ヲ致シタイノデス

○勝田政府委員 私ガ先程内務大臣ノ答辯ト切離シテト申シマシタノハ、誤解ガアッテハイケマセヌカラ申上ゲテ置キマス、私ノ答辯ト内務大臣ノ答辯トガ矛盾スル心配ガアルカラト云フヤウナ意味デ申シタノデハアリマセヌノデ、大臣自身ノ仰シヤッタ言葉ヲ御引用ニナッテ私ノ答辯ヲ求メラレマシタカラ、是ハ私個人ノ意見ヲ言ッタ方ガ宜イト思ッテ申シタノデアリマス、大臣ニ於カレマシテモ、恐ラク私ト同様ナ考ヲ有ッテ居ラレルト云フコトハ私ハ確信ヲ致シマス

○加藤委員 只今政府委員ノ御辯明デアリマスガ、内務大臣ノ御答辯ハドウデモ宜イト云フ譯ニハ參リマセヌ、決シテ私ハ政府委員ノ御答辯ト内務大臣ノ御答辯トガ趣旨ニ於テ異ルモノトモ思ヒマセヌ、或ハ矛盾ガアルトモ思ヒマセヌ、併ナガラ私ハ内務大臣ガ與ヘラレタル此答辯書ニ依ッテ質問スレバ、是ハ自分ト内務大臣ト切離シテ云云ト云フ御話デアルカラ、ソコデ左様申シタ譯デアル、故ニ私ハ此問題ハ先刻申上ゲマシタ理由ノ下ニ、内務大臣ノ責任アル之ニ付テノ答辯ヲドウシテモ得ナケレバナラヌ、ソレデアルカラ内務大臣ノ御出席ヲ改メテ要求シテ置キマス

○犬養委員 加藤君ノ熱心ナル御要求デアリマスカラ、内務大臣ノ御出席ハ出來マセヌカ

○勝田政府委員 出來ナイデスネ

○犬養委員 然ラバ文書ニ依ル再答辯ヲ戴キタイト思ヒマス、先日ノ内務大臣ノ御答辯ニ依レバ、此問題ハアノ答辯ニ依ッテ盡キタト思ッタガ、加藤君ノ質問ニ照シテモウ一度調べテ答辯スル、其答辯ヲスルト云フ内務大臣ガ今日何ト云ッテモ已ムヲ得ザル事情ニ依ッテ出席ガ出來ナイト仰シタルノデスカラ、モウ一度文書ニ依ル再答辯ヲ戴ケマセヌデセウカ、サウスレバ此問題ハ一ツノ落著ヲ見ルモノト思ヒマス

○星島委員 一寸議事進行ニ付テ、私ハ加藤君ノ洵ニ熱烈ナル御質問ニ對シテハ敬意ヲ拂フノデアリマスケレドモ、只今委員長ノ御趣旨ハ御尤ト思フノデアリマシテ、加

藤君ノ根本論ハ出版法ト懸放シテ、近ク政府ハ宗教團體法、其他ヲ出スノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニウント論ジ合フ、是ハ出版法ニ關聯シナクトモ宜イ問題デアルト思ヒマスカラ、之ニ引掛ケテ質問サレヌデモ宜カラウト思ヒマス、尙ホ一應休憩致シマシテ、サウシテ一時半カラ會議ヲ開カレ、其間ニ政府ノ方ニ於キマシテモ、大臣ガ出ラレ、バ此上ナイノデアリマスカラ、一應休憩サレンコトヲ望ミマス、サウシテ一時半カラ再開サレンコトヲ意見トシテ申述べマス

○松谷委員 内務省カラ「出版物ノ檢閲標準」ト云フ文書ヲ戴イテ、本員ハ非常ニ満足スルノデアリマス、其中デ「安寧紊亂出版物ノ檢閲標準」ト云フノガアリマスガ、其中ノ「一般の標準」ト云フ中ノ十五ノ所ニ「其ノ他著シク治安ヲ妨害スル事項」ト云フノガアルノデアリマス、先日御伺ヒシタ所ニ依リマスレバ、安寧紊亂ノ出版物ハ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルトカ、君主制ヲ否認スルトカ、共產主義、無政府主義等ノ理論乃至戰略、戰術ヲ宣傳スルトカ、或ハ國家權力作用ノ階級性ヲ高調シ、其ノ他甚シク之ヲ曲説スルトカ、或ハ直接行動、大衆暴動等ヲ煽動スルトカ、外國ノ君主、大統領ニ對

シテノ侮辱デアルトカト云フヤウナ事項ヲ例示セラレタノデアリマシテ、其程度ナラバ私共モ此出版法中改正ニ關スル二十七條ノ安寧秩序ヲ妨害スル者ニ對シテハ、六箇月以下ノ輕禁錮ニスルト云フコトニ付テハ異議ガナカッタノデアリマス、然ルニ只今御示シノ出版物ノ標準ニ依ルト「其ノ他著シク治安ヲ妨害スル」ト云フ事項ガアッデ、其方ガ却テ多イノデアリマス、若シ果シテ然ラバ、是ハ「其ノ他著シク治安ヲ妨害スル」ト云フコトデ、當局官憲ノ手心ヲ以テ、サウシテ先日申上ゲタヤウニ私有財産否定ハ財界ヲ攪亂スルモノデアアル、或ハ又政府打倒ト云フ文字ハ、政府ヲ打倒スノダカラ著シク治安ヲ妨害スルノデアルト言ッタヤウナ、解釋ノ仕方ニ依ッテハ當然サウ云フコトガ入ラウト思ヒマス、私共ハ「其ノ他著シク治安ヲ妨害スル事項」ノ中ニハ、只今申上ゲマシタヤウナ事項ガ入り得ル可能性ガ少クトモ有り得ルト思フノデアリマスカラ、只今申上ゲマシタヤウナ事項及今迄治安ヲ妨害スル出版物トシテハ發賣頒布ヲ許サレタ程度ノモノナラバ許スノデアルト云フ言明ト、ソレカラ「其ノ他著シク治安ヲ妨害スル事項」ト云ッタヤウナモノガ、只今述べマシタ十四項マデニ比較スベキ重

大ナモノデアルト云フ御言明ヲ得レバ、甚ダ私共ハ満足ダト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、其點ニ對スル政府委員ノ御意見ヲ承リ
タイノデアリマス

○中里内務書記官 私カラ申上ゲマス、大

體ニ於テ只今松谷サンノ御質問ノ通りデゴ
ザイマスガ、「安寧系亂出版物ノ檢閱標準」
ノ備考ニ斷テ居ルヤウニ、行政處分ノ執務
ノ内規デゴザイマス、隨テ先程御質問ノ中
ニゴザイマシタ私有財産制度否認ヲ十五項
ニ依ッテヤルカドウカト云フヤウナコトハ、
司法處分ノ方ノ裁判ノ結果ニ俟ツ事柄ニナ
ルノデゴザイマス、唯私共ノ方ハ行政處分
ヲ致シマス内規ヲ拵ヘテアルノデゴザイマ
シテ、從來ハ十三ノ「財界ヲ攪亂シ、其ノ
他著シク社會ノ不安ヲ惹起スル事項」ト云
フマデマアッタノデアリマスガ、時勢ノ變
化ニ依ッテ十四ノ「戰爭挑發ノ虞アル事項」
ト云フヤウナモノガ加ハッタノデゴザイマ
ス、サウシテ十五ニ於キマシテ「其ノ他著
シク治安ヲ妨害スル事項」ト云フモノガゴ
ザイマスノハ、社會情勢ノ變化ニ依リマシ
テ、只今申上ゲタ十四項ノ「戰爭挑發ノ虞
アル事項」ト云フヤウナモノガ加ハリマシ
タト同ジヤウニ、色々ナ事柄ガ將來起リ得
ルノデアリマシテ、其爲ニ十五ガ加ハッテ

居ルノデゴザイマス、其十五ノ「其ノ他著
シク治安ヲ妨害スル事項」ト云フノハ、一
カラ十四マデニ匹敵スベキ重要ナル事柄デ
アルカト云フ、只今ノ御質問ノ要旨ト全ク
同ジデアリマスカラ、其點ヲ申上ゲマス

○松谷委員

只今ノ御答辯デ稍、満足スル
ノデアリマス、サウ云フコトハ十四マデノ
間ニ匹敵スルヤウナ事項デアルト云フ御答
辯デ、私ハ稍、満足シタイノデアリマス、
併ナガラ備考ニ書イデアルヤウニ、執務内
規デアッテ、社會情勢ノ變化ニ伴ウテサウ
シテ範圍ガ擴マツタリ、縮マツタリスルノダ
ト云フコトニナレバ、國民ハ適從ニ迷ヒハ
シナイカ、只今申上ゲマシタヤウニ私有財
産制度ノ否認ト云フコトハ、共產黨ノ方ニ
ナリマスガ、小山司法大臣ノ治安維持法ニ
於ケル御答辯ニアリマスルヤウニ、私有財
産ノ否定ト云フモノハ、根本的ニ絕對ニ否
認スルノダト云フ御答辯ナラバ私ハ満足ス
ルノデアリマススケレドモ、例ヘバ土地奉還
論ヲ書イタ、サウスルト是ハ土地ノ私有財
産否認ニナルノダ、此中ニ入ルノダト云フ
コトニナルト、是ハ學術的ニ權威アル意見
ノ發表スラ差控ヘナケレバナリマセヌト云
フヤウナ結果ニナルノデアリマス、私ハ
サウ云フコトマデモ只今ノ御答辯ガ永久

性ヲ有タスモノナラバ、私ハ安心シテ御
答辯ニ満足スルノデアリマスガ、時勢ノ
變化ニ伴ウテ、或ハ社會情勢ノ變遷ニ
伴ウテソレガドシ、擴ガルト云ツタヤウ
ナコトニ對シテハ、私ハ甚ダ遺憾ノ意ヲ表
セザルヲ得ナイ次第デアリマス、只今ノ御
答辯ニハ満足シマスガ、此出版法ニ書イテ
アル備考ノ點ニ付テハ、私ハ甚ダ不満足ノ
意ヲ表シテ、是レ以上御答辯ヲ求メルト云
フコトハ、又御答辯モ爲サレ得マイト考ヘ
マスカラ、質問ハ此程度デ打切ッテ置キマス
ガ、甚ダ遺憾ノ意ヲ表シテ置キマス

○星島委員

先般私御伺シマシタ三十六條
ノ方ノ「レコード」ヲ對象トシテ作ラレタ
文章デ、唯沿革的ニ斯ウ云フ文字ヲ用ヒテ
居ルカラ、今回モ此文字ヲ用ヒタト解釋致
シタノデアリマスガ、併シ私ハ矢張條文ノ
體裁カラ申シマシテモ、文字カラ申シマシ
テモ、近來錄音ノ活動寫眞ガ出來テ居ル以
上ハ、是ハ入ルト思フノデアリマス、之ニ
關スル將來ノ點モアリマスカラ、ハッキリモ
ウ一度御言明ヲ承リタイト思ヒマス
ソレカラ參考ノ爲ニ戴キマシタ活動寫眞
「フィルム」檢閱規則デアリマス、私ハ此出
版法ニ致シマシテモ、治安警察法ニ致シマ
シテモ、新聞紙法ニ致シマシテモ、是ハ憲法

ニ依リ與ヘラレタル吾々ノ言論自由ノ原則
ヲ兎ニ角狹メル一ツノ法律デアッテ、段々時
代ガ進ムニ從ッテ取締ノ範圍ガ狹クナルベ
キ筈デアアルノニ、今回モ殖エテ來マシタコ
トハ、洵ニ吾々立憲國民トシテ恥シク、残念
ニ思フ次第デアリマス、茲ニ政府ニ御伺シ
タイノハ、活動寫眞「フィルム」檢閱規則
ハ、吾々ハ少クモ現在ノ活動寫眞、殊ニ「ト
ーキー」ノ隆盛ニナッタ今日ノ時勢カラ見マ
スレバ、是ハ「ラデオ」モ入ル譯デスガ、蓄
音機ヲ取締ラレルト同ジヤウニ、或ハ言論
ヲ取締ラレルト同ジヤウニ、活動寫眞ノ影
響ト云フモノハ大變ナモノデアリマス、寧
ロ演說ヤ、言論文章以上デアリマス、今日
ノ活動寫眞ノ影響ト云フモノヲ考ヘレバ、
單ニ政府ガ勝手ニ作ラレタ省令デ勝手ニヤ
ラレルト云フコトハ、洵ニ私ハ立法權ヲ侵
害サレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、此
「フィルム」檢閱規則ノ因ッテ起ッタ省令
ノ基礎ハ、出版法ヤ、新聞紙法ヤ、治安警
察法ノヤウナ古イ法律ニハ當嵌ッタモノガ
ナイカラ、臨時ニ作ラレテ居ルモノデア
ルスレバ、是ハ憲法違反ト言ハナケレバナ
ラヌ、詰リ議會ヲ無視シタト言ハナケレバ
ナラヌ、サウ云フ點ニ付キマシテ、從來「ラ
デオ」ヲ遞信省ダケデ取締ッテ居ルガ、是ハ

内務當局ト逡信省ノ間ニ於ケル矛盾ガアルデアラウト思ヒマス「ラヂオ」ノ取締ニ付キマシテハ、當然警保局ガヤラナケレバナラヌ、官制上カラ見テモヤラナケレバナラヌト思ヒマスガ「ラヂオ」ト云ヒ、活動寫眞ト云ヒ、一括シテ言論文章ノ取締ノ範圍ノ上ニ於キマシテ、憲法ノ一部ヲ制限スルノデアリマスカラ、總括的ナ取締規則ハ議會ヲ通シテ爲サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、配付ナリマシタ「フィルム」ノ檢閱規則ノ如キハ、全然吾々ハ知ラナイ、サウシテ現在實際ヲ見マスレバ、一番影響ノアルモノデアルト思ヒマス、私ハ一昨夜モ「世界大戰ヲ語ル」ト云フ「フィルム」ヲ見マシタガ、アレハ實ニ殘忍極マル戰爭慘禍其儘ヲ見セル、洵ニ子供ニ見セタラ怖ガル「フィルム」デアリマス、アレヲ作ッタ人ハ中々外國人デモ犠牲的精神ガアッテ、戰爭ハ本腰デヤル、日本國民モシカリヤレト云フ意味ニ於テ作ラレタ「フィルム」デアルト思ヒマス、或ハ事ニ依ッタ戰爭挑發ト云フコトニモ取ル人ガアルカモ知レマセヌガ、御自身——私ノ子供ガアレヲ見テ戰爭ト云フモノハ慘澹タルモノデアアル、廢メナケレバナラヌト云フ、平和思想鼓吹ニナツタ結果ヲ見マシテ、一面安心ハ致シテ居リマスケレドモ、

先般日本劇場ニ於テヤリマシタ千九百三十四年ヲ目指シタル「フィルム」、國際聯盟ノ松岡全權ノ宣言ノ「トーキー」カラ始マッテ、最後ハ防空演習ヲ持テ來テ、三十四年ト云フ印象デ終ッテ居ルガ、此「フィルム」ハ戰爭挑發ノ虞ガ十分アルト思ッテ居ッタノデアリマスガ、斯ウ云フモノガ内務省ノ省令デ簡單ニボッボトヤラレテシマフト云フコトハ、如何ニモ吾々ノ立法權ヲ無視サレタヤウニ思フノデアリマス、斯ウ云フモノハ將來政府ハドウスル御考デアルカ、一括シタ大改正ヲサレルヤウナ御意思ハナイカ、其點ニ付テ御伺シタイノデアリマス

○勝田政府委員 第一點ノ活動寫眞「フィルム」ノ檢閱規則デゴザイマスガ、此點ニ付キマシテハ、先般星島君ノ御質問ニ對シテ大體御答致シテアルノデアリマス、詰リ發賣頒布ノ目的トナリマスモノハ、出版法ノ取締ニ依ルノデアリマスガ、「フィルム」ハ興行ヲ主トスルモノデアリマスカラ、營業取締ヲ以テ之ニ當ル、斯ウ云フ考デアリマス、ソコデ十六「ミリ」ノヤウナ「フィルム」、即チ發賣頒布ヲ目的トシテ居リマシヤウナモノハ、矢張此出版法ニ依ッテ取締ルコトニ相成ッテ居ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ檢閱ノ統一ノ點デアリマスルガ、是ハ理

想ト致シマシテハ左様ニアリタイノデアリマス、併シ御承知ノ通りノ事情デゴザイマシテ「ラヂオ」ガ逡信省ノ取締ニナッテ居ルト云フヤウナコトハ、取締ノ統一ノ上カラ考ヘマスレバ、甚ダ遺憾ノ點ガアルヤウニ存ゼラレルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ十分ニ研究致シマシテ、將來出來ルダケ理想的ノモノニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○星島委員 出版法三十六條ニ付キマシテハ諒承致シマシタガ、唯「フィルム」ノ檢閱規則ハドウ云フ精神デ出來タカト云フコトヲ、當局カラ伺フコトガ出來レバ實際參考ニナルト思ヒマス、私ノ問フ點ハ、是ハ單ナル興行取締ノヤウニ簡單ニ考ヘテ居ルケレドモ、一方ハ言論文章ヲ取締ル憲法附屬ノ取締規定デアアル、所ガ活動寫眞ノ方ハソレト同ジヤウナ影響ガアル、殊ニ「トーキー」ハ演説ト同ジヤウナ影響ガアル、之ヲ興行物ダケトシテ取締ルノハ間違ッテ居ル、省令ヲドン／＼勝手ニ出サレマスガ、ソレハ議會無視ニナリハシナイカ、是ガ私ノ質問ノ要旨デアリマス

○勝田政府委員 政府ニ於キマシテハ興行用ノ「フィルム」ノ取締ニ付キマシテハ、矢張興行取締ト云フ方面カラ取締ッテ居ルノ

デアリマス、星島君ノ言フヤウニ立法事項ニシタラドウカト云フコトモ一理デゴザイマセウガ、政府ニ於キマシテハ、現在ノ程度ニ於テハ是デ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○星島委員 是ハ昭和三年ニ改正サレタモノト思ヒマスケレドモ、今ノ逡信省デ「ラヂオ」ノ取締ヲサレテ居ルコトモ、特別ナ法規ノ下ニヤッテ居ルノデアリマセウケレドモ、是モ議會ニハ關係ナシニ決メラレタ省令カ何カト思フ、是ハ一體不都合ナモノデアアル、當ニ内務當局ノ方針ト矛盾ガアリマス、ソコデ今ノハ分リマシタカラ、將來政府ハ「フィルム」ノ檢閱、殊ニ「トーキー」ノ檢閱ニ付キマシテハ、單ニ興行物デナクシテ「ラヂオ」ト共ニ統一シタル所ノ法規ヲ作ラレテ、議會ニ新ニ提案サレンコトヲ望ンデ、私ノ質問ハ終リマス

○加藤委員 今星島君ノ「フィルム」ニ關スル質問ニ付キマシテ、一寸私申上ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、ソレハ外デモアリマセヌ、只今防空演習云々ノ御話ガアッタ、昨年私モ七月二十五日橫濱ヲ立チマシテ、亞米利加ヘ著クマデノ間、布哇ヲ立チマシテ二日目ダト思ッテ居リマスガ、防空演習ノ活動寫眞ガ大洋丸、船中ニ於テアッタ、實

ニ其迅速ナルノニ殆ド皆一同ガ呆レ返ツタ、其中ニ多數ノ外人モ實ハソレヲ見テ居、タノデアリマスガ、吾々同船者ハ將來ノ戦争ヲ假想スルヤウナ意味ノ下ニ行ハレタ防空演習ノ活動寫眞ヲ、斯様ナ所デ直チニヤラセルト云フヤウナコトハ、是ハ國交ノ上ニ於テモ非常ナ不利益ナコトデヤナイカト云フコトハ、期セズシテ皆一同ガ左様ニ申シタ譯デアリマス、斯ウ云フコトニ付テノ取締ハ一體ドウ云フ風ニナッテ居ルノデアルカ、又將來ドウ云フ風ニナサル御見込デアルカ、序デアリマスニ依ッテ其邊ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○勝田政府委員 加藤君ノ御説ハ吾々モ共鳴スル所ガ非常ニ多イノデアリマス、併ナガラ現在ノ取締ノ方針ト致シマシテハ、輸入「フィルム」ニ付キマシテハ檢閲致シマシテ、サウシテ相當ノ處置ヲ致シテ居リマシガ、輸出ニ付キマシテハマダ檢閲致シテ居リマセヌ、隨テ日本デ出來マシタ「フィルム」デ、先程御話ニナッタヤウナ「フィルム」ガ外國へ出ルト云フヤウナコトニ付キマシテ甚ダ遺憾ニ思ッテ居リマシテ、只今ソレニ對シマシテハ「フィルム」ノ檢閲ヲ統一スルト云フ意味ニ於キマシテ、映畫統制機關ヲ作りマシテ、ソレ等ノ問題ニ付キマシテ相

當處置ヲ致サウト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○加藤委員 只今御答辯ヲ戴キマシテ、安心ト云フ程度ニハ至リマセヌガ、ドウカ嚴重ニセラレテ、外國へ輸出スル映畫ハ非常ニ嚴重ナル監督ヲ致シマシテ將來ノ戦争ヲ聯想セシムルヤウナ映畫ハ、絶對ニ之ヲ取締ラレンコトヲ切ニ希望致シマス、此方ニ居ッテ考ヘルヨリモ、向フデ見ルト一層切實ニ考ヘルノデアリマスカラ、ドウゾ十分御取締アラムコトヲ希望致シテ置キマス

○犬養委員 先程來宮城前ノ日蓮宗ノ太鼓ノ問題デ、内務大臣ガ自身デ御出席ガドウシテモ出來ナイト云フコトデアリマスレバ、何カ政府ニ於カレマシテハ、文書ニ依ッテ内務大臣ノ再答辯ガ戴ケルモノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○勝田政府委員 差出シテモ宜シイト考ヘテ居リマス

○犬養委員 凡ソ何時頃戴ケマスカ——ソレデハ休憩致シマシテ、再答辯ヲ待ツコトニ致シタラドウデゴザイマスカ

○牧野委員長 休憩ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 ソレデハ休憩致シマス、午後一時半ヨリ再開致シマス

午後零時二十四分休憩

午後一時五十五分開議

○牧野委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○加藤委員 私ハ午前ニ引續キマシテ、尙ホ一點政府委員ニ御尋致シタイと思フコトガアリマス、ソレハ内務大臣ノ答辯書ノ中ニアリマス「俗惡若ハ喧騒ナル音律」ト云フコトニ付テハ午前中御尋申上デマシタガ、尙ホ一點御尋申上ゲナケレバナラヌコトハ「殊ニ亂打ヲ常トスル日蓮宗僧侶其ノ他同議員等ノ團扇太鼓ハ」ト云フノハ如何ニモ日蓮宗ヲ侮辱シタ言葉ノヤウニ考ヘラレマスガ、政府委員ハ左様ニ考ヘテ居ルノカドウカ、特ニ此際改メテ御尋申上ゲタイト思フ

○勝田政府委員 決シテ日蓮宗ヲ侮辱シタ意味ニ於キマシテ左様ナ文字ヲ使ッタモノデナイト云フコトヲ此機會ニ於キマシテ明ニ致シテ置キマス

○加藤委員 既ニ政府委員ノ御趣意ノアル所ハ能ク分リマシタガ、斯ノ如キ言葉ヲ其儘存置スルト云フコトハ將來ニ於テ甚ダ宜シクナイト思ヒマスカラ、希クバ此言葉ヲ取消サレタイト考ヘマスガ、併シ御都合ニ依リマシテハ將來斯ノ如キ文字ハ使ハヌト

云フコトヲ茲ニ明言セラレタイト思ヒマス、此點ニ付テ政府委員ノ御趣意ノ在ル所ヲ伺ッテ置キタイ

○勝田政府委員 答辯書ノ文字ノ問題ニ付キマシテハ、今後トモ總テノ場合ニ於キマシテ注意致シタイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 將來斯ウ云フ文字ヲ御使ヒ爲サラヌヤウニ御願シタイ、斯様ナ文字ガ非常ナ煽動的ニナルコト、考ヘマスカラ、ドウゾ將來再ビ此過チヲセラレナイヤウ特ニ注意ヲ致シテ置キマス

○勝田政府委員 當委員會ニ於キマシテ内務大臣ノ出席ヲ御要求ニナッテ居ルノデアリマスルガ、他ノ委員會等ノ關係上、内務大臣ハ遺憾ナガラ出席出來ナイノデアリマス、先刻内務大臣ハ自分ガ出席出來ナイカラ、自分ニ代ッテ次ノ如キ答辯ヲセヨト云フコトヲ私ニ御命ジニナッタノデアリマスカラ、私内務大臣ニ代リマシテ只今内務大臣ノ御考ニナル所ヲ此機會ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

三月六日ノ妙法寺講々員ノ行進取締ニ付キマシテ、警察當局ト同議員代表者トノ間ニ行違ガアッタヤウニ思ハレマスノデ、遺憾ニ存ジマス、將來ニ於キマシテ斯カル事態ノ發生セザルヤウ注意致サセマス

○加藤委員 内務大臣ノ御出席ノナイノハ甚ダ遺憾ト致シマス、併ナガラ政府委員ガ内務大臣ノ代理ト致シマシテ、茲ニ御朗讀ニナリマシタコトハ即チ内務大臣ノ直チニ仰シヤツタ言葉ト致シマシテ、本員ハ是デ諒承致スコトニ致シマス

就キマシテハ此際私ハ特ニ内務當局ニ希望致シテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ他デハアリマセヌガ、御承知ノ如ク近來我國ノ思想ト云フモノハ非常ニ惡化シツ、アルヤウニ思ハレル、故ニ思想惡化ノ聲ガ頻々トシテ各方面ニ唱ヘラレルコトニ相成ツタト云フコトハ國家ノ爲メ吾等常ニ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、一體其原因ハ何處ニアルカ、是ハ言フ迄モナク色々ノ原因ガアリマセウ、先ヅ第一ニハ教育ノ缺陷、或ハ國民生活ノ困難ト云フヤウナ事柄ガ主ナル原因デアリマセウガ、又看過スコトノ出來ナイコトハ、宗教其モノニ對シマシテ國民一般ガ冷淡ニナツテ居ル、即チ宗教ヲ信ジナイト云フコトヲ一種ノ誇リノヤウニ考ヘル國民ガ段々増加シマシテ、オ前ハ何宗教デアルカト問ハレタ際ニ、俺ハ無宗教デアルト云フコトヲ特ニ誇リ顔ニ申スヤウナ人間ガ段々多クナツテ來テ居ル、其結果自然宗教ヲ侮蔑スル、蔑視ス

ル、無視スルト云フヤウナ行動、言動ガ近來甚ダ多クナツテ來テ居ルヤウニ思ハル、ノデアル、所ガ宗教其モノニモ依リマスケレドモ、我國ニ於ケル佛教ハ非常ニ國體觀念ノ強イ宗教デアルト云フコトヲ申シテモ決シテ過言デハナイト思ヒマス、特ニ日蓮宗ノ如キハ宗祖以來非常ニ熱烈ナル、國體觀念ノ發達致シタ宗教デアアルノデアリマス、故ニ此思想惡化ヲ防止スルニハ、ドウシテモ教育ノ力ニ依ラナケレバナラヌコトハ勿論、國民ノ生活ノ上ニ付テモ困ラヌヤウニシテヤルト云フコトモ必要デアリマスガ、取分ケ此宗教思想ヲ鼓吹スルト云フコトガ、最モ適切有效デアルト固ク信ジテ居ル次第デアリマスカラシテ、此點ニ付キマシテハ、内務當局ニ於ケレマシテモ十分考慮セラレマシテ、苟モ宗教ヲ侮蔑スルヤウナ態度ノナイヤウニ致サレタイ、偶、此處ニアリマスヤウナ答辯書ヲ吾々ガ得ルニ就テモ、如何ニモ内務當局ガ宗教其物ニ付テ冷淡デアリ、且又無常識デアルト云フヤウナコトヲ想像セナケレバナラヌト云フコトヲ甚ダ遺憾トスルモノデアリマスカラ、將來ハ此點ニ付テ十分御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、而シテ又將來皇室ニ對シテ十分敬虔ノ念ノ深いモノニ對シマシテハ、特ニ之ヲ

助長スルヤウナ方針ノ下ニ總テヲヤラレルヤウニ致サレタイ、同時ニ警察官等ニ付テモ、先刻常識云々ノ話モアリマシタガ、無常識ノ警官ガ中々多イ、其結果ガ今回ノ問題ノヤウナコトヲ惹起スルノデアルカラシテ、一面宗教ト云フモノニ重キヲ置クト同時ニ、警察官等ニ對シマシテモ、ソレ等ノコトヲ能ク徹底サセマシテ、將來再ビ警官ト宗教團體トノ間ニ斯ル不祥事ノ行違ノナイヤウニセラレンコトヲ切ニ希望致シマシテ、此問題ハ内務大臣ノ聲明ニ信賴シ、是デ打切ルコトニ致シタイト考ヘマス

○牧野委員長 益谷君

○益谷委員 本案ニ對シマスル私共ノ態度ヲ決定致スニ付テ簡單ニ一ツ御尋致シタイト思ヒマス、此法文ヲ見マスルト、現行制裁法規ノ使ツテ居ル文字ト非常ニ違フノデス、例ヘバ十六條ノ「犯罪」ヲ「罪犯」ト言フヤウナ文句モアリマス、ソレカラ二十六條ニ政體ヲ變壞シ又ハ國憲ヲ紊亂スルト云フヤウナ文字ガアツテ、私共カラ考ヘマススト云フト、國憲ヲ紊亂スル中ニ是ガ含マレル例示ノヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ刑ニ付テモ「輕禁錮」ト云フヤウナ、刑法ト異ツテ居ル刑罰ノ名稱ガアル、是ハ色色新聞紙法等ノ關係ヲ考慮セラレマシテ、

○勝田政府委員 此點ニ付キマシテハ、既ニ當委員會ニ於キマシテモドナタカラ御質問ガアツタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、政府ト致シマシテハ、此法律竝ニ新聞紙法ヲ總括致シマシテ、改正案ヲ作りタイト、斯様ニ考ヘテ居ッタノデゴザイマスルガ、何分相當ノ日時ヲ要スル重大ナル事案デアリマスルノト、一方出版權法ノ改正ト云フコトハ、一日モ忽セニスルコトノ出來ナイ事情ニ直面致シテ居リマシタノデ、取敢ズ出版法ノ改正ノ必要已ムベカラザル部分ニ限ツテノミ致シタノデアリマス、隨テ出版法ガ古イ法律デアリマス關係上、字句オンカニ付キマシテ、色々變ナ所ガアリマス、又新聞紙法ト比較研究致シマスルト、刑ノ定メ方ナンカニ付キマシテ、相當不均衡ニ思ハレルヤウナ點ガアルノデアリマスルガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ後日ヲ期シマシテ體裁ヲ整ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○益谷委員 モウ質疑ガ盡キタト存ジマス

ルカラ、討論ニ入ラレンコトヲ望ミマス

○牧野委員長 益谷君ノ動議ニ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシ〕「賛成」ト呼フ者アリ

○牧野委員長 然ラバ質疑ヲ打切ッテ討論
ニ入リマス——松谷君

○松谷委員 私ノ方カラ御手許ニ差上ゲテ
アル通りニ、本案ニ對シマシテ、第二十七
條ノ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ」ト云フ文字
ヲ削除致シタイ、斯ウ云フ修正動議ヲ提出
致シマス

併セテ簡單ニ理由ヲ申述ベマス、御承知ノ
如ク世ノ進運ニ伴ヒマシテ、又文化ノ發展
ニ鑑ミマシテ、此出版法ナリ、或ハ言論ノ自
由ト云フモノハ、可ナリ寛カニナラナケレ
バナラヌ、言論ノ自由ヲ尊重シナケレバナ
ラヌヤウナ情勢ニ立至ッテ居ル、是ハ文化ノ
發展上當然ノコトダト私ハ考ヘマス、然ル
ニ拘ラズ、近時政府ノ提出セラレル色々ナ
書面ナリ、法案ナリヲ通シテ見マスルト、
漸次政府ノ御方針ハ此趨勢ニ反シマシテ、
非常ニ言論ノ取締ガ嚴格ニナッテ、世ノ進運
ニ伴ハザルコト甚ダ大ナリト私ハ考ヘルノ
デアリマス、寧ロ改惡ナリト私共ハ考ヘテ
居ルノデアリマス、就中此「安寧秩序ヲ妨

害シ」ト云フ言葉ノ如キハ、極メテ抽象的

デアリマシテ、政府ノ手心ニ依ッテ、如何様
ニデモ解釋ガ出來ル、現ニ清瀬一郎君ガ辯
論ノ要旨ヲ出版スルト、ソレガ所謂此「安
寧秩序ヲ妨害シ」其他ノ理由ヲ以テ發賣禁

止ニナッタノデアリマス、發賣、頒布ノ禁
止ダケナラバ、ソレデモ尙ホ満足スルノデ
アリマスルケレドモ、今度ハ發賣禁止ニナ
ルト同時ニ體刑ヲ科サレルト云フヤウナ結

果ニナリマシテ、國民全體カラ考ヘテ危險
此上モナイ法律ダト、私共ハ言ハザルヲ得
ナイ、ソレデ、私ハサウ云フ際ニ於キマシ
テ、發賣頒布ヲ禁止シテ、尙ホソレニ應ゼ
ズシテ發賣頒布ヲヤッタ場合ニハ、斯ウ云
フ規定モ宜シイカモ知レマセヌガ、イキナ

リ安寧秩序ヲ妨害シタトシテ處罰セラレ
ル如キハ、實ニ甚シキ法律ノ惡化ダト私ハ
考ヘマス、其意味ニ於キマシテ、是ハ寧ロ
此點ニ於テハ改正シナイ方ガ宜シイ、隨テ
二十七條ノ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ」ノ文
字ヲ削リタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○牧野委員長 松谷君ノ修正案ニハ贊成者
ガアリマセヌカラ、此委員會ニ於テハ成立
致シマセヌ、ドウゾ本會議ニ於テ修正案ヲ
御提出下サイ

○松谷委員 併ナガラ是ハ私共ノ黨ノ色々
ノ關係モアリマスシ、サウ云フ先例モアル
ヤウニ承ッテ居リマスカラ、其修正案ガ成立
シナカッタト云フコトダケデモ御報告願ヒ
タイ

○牧野委員長 宜シウゴザイマス

○益谷委員 私ハ此法律ガ暫定的ノ法律デ
アルト云フコトヲ確メマシテ、現時ノ世相
ニ鑑ミ、極メテ適切ナル改正案ト思料致ス
ノデアリマス、松谷君ハ二十七條ノ「安寧

秩序ヲ妨害シ」ト云フノヲ削除セラル、御
意見ノヤウデアリマスガ、是モ運用宜シキ
ヲ得レバ極メテ適切ナル改正ノ要目ガラウ
ト信ズルノデアリマス、私ハ本案ニ對シテ
贊成ノ意思ヲ表明致シマス

○山根委員 私共ハ民政黨ヲ代表致シマシ
テ、出版法ノ改正法律案ノ政府提出ノ原案
竝ニ貴族院ノ修正ヲ併セマシテ贊成ヲ致シ
マス

○益谷委員 私モ貴族院ノ修正ニモ贊成ヲ
致スノデアリマス、本案全部ニ付テ贊成ノ
意思ヲ表明致シマス

○牧野委員長 別ニ討論モナイヤウデアリ
マスカラ、討論ヲ終局シテ宜シウゴザイマ
スカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○牧野委員長 ソレデハ討論ハ終局致シマ

シター——採決ヲ致シマス、貴族院ノ修正ヲ
含ンダ原案ニ贊成ノ御方ハ御起立ヲ願ヒマ
ス

〔贊成者起立〕

○牧野委員長 起立多數——本案ハ貴族院
修正通り可決ニ相成リマシター——是ニテ散
會致シマス
午後二時十三分散會

衆議院輸出水產物取締法案委員會會議錄第三
回中正誤

頁	段	行	誤	正
六	一	二五	帳簿上	商法上
同	二	七	帳簿上	商法上
同	同	八	帳簿上	商法上
同	同	一六	帳簿上	商法上

衆議院輸出水產物取締法案委員會會議錄第二
回中正誤

頁	段	行	誤	正
三二	一三	沖取引	沖取	
三二	一七	保稅官吏、	保稅關係、	
		輸出官吏	輸出關係	